
IOSCO 協力会員諮問委員会（AMCC）中間会合及び研修セミナーの模様について

日証協・平成 26 年 4 月 7 日～10 日

証券監督者国際機構（IOSCO）の協力会員諮問委員会（Affiliate Members Consultative Committee: AMCC）の中間会合及び研修セミナーが、4 月 7 日（月）～10 日（木）の間、東京において開催された。概要は以下の通り。

1. AMCC 中間会合（7 日（月）午前・午後及び 8 日（火）午前）

（AMCC メンバーのうち 23 機関のほか IOSCO 事務局、金融庁から計 56 名が出席）

1) ゲストスピーチ



会議の冒頭にデビッド ライト IOSCO 事務局長がスピーチを行い、「IOSCO では、現在 85 のワーク・ストリームがあり、限られた人的資源で効果的に業務をこなしていくために、それらの優先順位付けが重要となっている。市場に新たに生じるリスク、サイバー攻撃の脅威、クラウドファンディング等に関する情報収集、対策や戦略の検討について、今後も引き続き AMCC からの協力を求めたい。」とのコメントがあった。

また、金融庁国際政策統括官河野正道氏もスピーチを行い、規制の策定に当たっては、過度な規制コストがビジネスを縮小させないように、適切なバランスを取ることが重要であると指摘し、FSB 等国際的な規制改革の検討の場における金融庁の考え方を述べた。

2) 新メンバーの紹介

新たに IOSCO 協力会員となったドイツ・デリバティブ協会（DDV）の概要説明があった。

3) IOSCO の各常設委員会議長からの報告

以下の IOSCO の常設委員会に参加している AMCC メンバーから、各委員会の主な課題、取組みについて報告が行われた。

- 第 2 委員会（流通市場の規制）
- 第 3 委員会（市場仲介者の規制）
- 第 5 委員会（投資マネジメント）
- 第 7 委員会（商品取引・市場）
- 第 8 委員会（リテール投資家）

4) Regulatory Staff Training Working Group (研修セミナーワーキング・グループ) (議長：FINRA)

AMCC がこれまで行ってきた研修セミナーは、IOSCO 本体が別途行っているセミナー・トレーニング・プログラム (STP) と統合し、STP の研修プログラムの中で AMCC が可能な協力を行っていくことが合意された。

5) Ahead of the Curve Working Group (議長：本協会)

各市場の最近の動向・取組みにつき、AMCC メンバー間で情報・意見交換を行った。議論された話題は次のとおり。

(市場取引に関する事項)

- ・ティックサイズの縮小について
- ・値幅制限について
- ・取引所が提供する投資信託の注文執行システムについて

(ディスクロージャーに関する事項)

- ・上場会社の開示情報に関する分析について
- ・取引所が行う監査報告書のレビューについて
- ・クラウドコンピューティングの自主規制への利用について

(投資アドバイスに関する事項)

- ・仕組み商品に対する適合性原則の適用について
- ・手数料の開示、運用成績報告書のあり方について
- ・高齢者、主婦等に対する投資勧誘のあり方について

(その他)

- ・業者間取引レートに対する監視方法の改善について
- ・過去の監査結果に基づいた監査方針・スケジュールの策定について



6) AMCC タスクフォースからの報告

昨年 9 月のルクセンブルグ会合において、①サイバー攻撃への対応、②投資ファンドに関する情報・データの収集 (第 5 委員会等 IOSCO の関連する協議体への情報提供を想定)、及び③エマージング・リスクの把握の 3 つのタスクフォースが AMCC 内に設けられた。今回の中間会合では、各タスクフォースから検討状況について報告があった。

7) クラウドファンディングに関するサーベイ

本協会が中心となり進めているクラウドファンディングに関する AMCC メンバーに対するサーベイにつき、現時点で回答のあった台湾（グレートイ証券市場）、韓国（KOFIA）から報告を受けたほか、IOSCO 事務局から、本年 2 月に IOSCO が公表したクラウドファンディングに関するスタッフ・ワーキング・ペーパーについて概要の紹介があった。

2. AMCC 研修セミナー（8 日（火）午後及び 9 日（水）、10 日（木））

別添のアジェンダの通り、8 日（火）午後には投資家保護と金融教育をテーマとした公開セミナーが、9 日（水）及び 10 日（木）には、各国の規制当局、自主規制機関のスタッフを主な対象とした研修セミナーが開催された。

上記セミナーには海外からの 28 カ国 77 名が参加した。また、公開セミナーには海外からの参加者のほか、国内の投資家教育関係者等 96 名が参加した。



1) 投資家保護と金融教育に関する公開セミナー

（開会挨拶）

8 日（火）午後の公開セミナーでは、冒頭に本協会稲野会長が開会挨拶を行い、本セミナーの開催に協力を得た IOSCO 事務局等関係機関への感謝を述べるとともに、①世界金融危機で明らかになったように、金融商品・サービスに内包されるリスクを利用者が十分に理解することが困難になっていること、②日本を含む先進経済諸国で予想される人口動態の変化に伴い、個人の自己責任による中長期の資産形成が不可欠になっていることを踏まえ、金融リテラシーの向上が重要な政策課題となっていることを指摘した。

（基調講演）

IOSCO 事務局長デビッド・ライト氏が基調講演を行い、IOSCO の業務範囲は世界金融危機後大幅に拡大するとともに重要性が増していることを指摘し、IOSCO が策定する原則を各国が確実に適用することを担保するために国際条約等に基づく拘束力のある執行の枠組み、制裁制度、紛争解決制度を構築する可能性について検討していることを紹介した。



（パネル・ディスカッション 1）

パネル 1 では、IOSCO のライト事務局長の司会により、韓国金融投資協会 ヘッドコンサルタント H. J. シン氏、Financial Planning Standard Board (FPSB) CEO ノエル・メイ氏及び金融庁 国際証券規制調整官 渡部 康人氏がパネリストを務め、投資家保護及び金融教育に関する主要な課題として、高齢者に対する保護と規制の適切なバランス

ス、投資家の目を長期投資へ向けるための政策、投資家のニーズに適切に応えるための投資アドバイザーとしての資質及び信頼性の確保のための方策に関し議論を行った。

(パネル・ディスカッション2)

パネル2では、FINRA マネージング・ディレクターのポール・アンドリュース氏の司会により、トルコ 資本市場仲介業協会 (TSPAKB)事務局次長 アルパスラン・ブダック氏、インドネシア 金融庁 (IFSA) コミッショナー クスマニントゥティ・スティオノ氏及び、日本銀行 情報サービス局 企画役 岡崎 竜子氏がパネリストを務め、金融教育におけるトルコ、インドネシア、日本の取り組みを紹介した。トルコからは、一般の人々の関心を高めアクセスを拡大するためインターネット及びソーシャルメディア上で写真コンテスト等を開催していること、今後モバイル端末の活用、オンライン投資シュミレーションゲームの開発を進めること等が紹介された。日本からは、学校における金融教育プログラム拡充のための教員に対するセミナーの開催、学生の作文・小論文コンクールの実施等の取り組みが紹介された。インドネシアからは、対象者の生活環境、教育水準に合わせた情報伝達方法を採用していること、例えば、都市在住者に対しては、セミナーの開催やインターネット及びソーシャルメディアを通じて、地方在住者に対しては、テレビ、ラジオ、新聞のほか街頭宣伝車を利用して情報伝達を行っていることが紹介された。



2) 研修セミナー

9日(木)の研修セミナーは、規制の基本的な枠組みをテーマとし、冒頭に本協会大久保副会長が証券市場における自主規制の歴史的発展及び現在の役割、今後の課題等に関し基調講演を行った後、規制の基本的なプロセスである、①規則の制定、②法・規制の執行、③証券会社等仲介業者及び証券外務員の登録・資格認証、④ATC ワーキンググループで議論した問題を紹介するパネルが行われ、最後に研修参加者全員が参加し、セミナーで取り上げた課題に関してグループ・ディスカッションを行った。

翌10日(金)は、市場環境の変化と規制機関の役割をテーマに、最初に紛争解決処理に関するパネル・ディスカッションが行われた。その後、IOSCO 調査部長ワーナー・ビジカーク氏から現在 IOSCO 調査部が取り組んでいる課題の紹介があり、続いて、技術革新の結果証券市場に新たに生じてきた諸問題(HFT、SNSを利用した投資勧誘、クラウドファンディング、サイバー攻撃の脅威等)、インサイダー取引及び相場操縦行為の発見方法・防止策等に関するパネル・ディスカッションが行われた。

9日、10日両日とも、パネリストと参加者の間で活発な質疑、意見交換が行われた。

以 上



DRAFT AGENDA
7th AMCC Training Seminar
Implementing IOSCO Principles
Tokyo, Japan

別 添

IOSCO／AMCC 研修セミナー プログラム

2014 年 4 月 8 日 (火)

1 日目: 投資者保護とフィナンシャル・リテラシー
(公開セッション)

会場: 東京証券取引所 東証ホール

セミナー 司会者: ポール・アンドリュース氏 (米国金融取引業規制機構(FINRA))

13:30 – 14:00	登録
14:00 – 14:10	歓迎挨拶: - 稲野 和利 日本証券業協会 会長 -
14:10 – 14:30	基調講演:岐路に立つ IOSCO – 組織強化の必要性 - デビッド・ライト氏 IOSCO 事務局長 -
14:30 – 16:00	パネル 1: 個人投資家に関する重要な課題 司会者: デビッド・ライト氏 IOSCO 事務局長 - 渡部 康人氏 金融庁 国際証券規制調整官 - H. J. シン氏 韓国金融投資協会 ヘッドコンサルタント - ノエル・メイ氏 FPSB (Financial Planning Standard Board) CEO -
16:00 – 16:15	休憩
16:15 – 17:30	パネル 2: ライフサイクルを通じた金融リテラシーの促進 司会者: ポール・アンドリュース氏 米国金融取引業規制機構 (FINRA) ヴァイス・プレジデント&マネージングディレクター - アルパスラン・ブダック氏 トルコ 資本市場仲介業協会 事務局次長 - 岡崎 竜子氏 日本銀行情報サービス局 企画役 - クスマニントゥティ・スティオノ氏 - インドネシア 金融庁 (IFSA) コミッショナー



DRAFT AGENDA
7th AMCC Training Seminar
Implementing IOSCO Principles
Tokyo, Japan

2014 年 4 月 9 日 (水)

2 日目: 規制の枠組み (IOSCO メンバー・その他規制機関のみ)

会場: 東京証券取引所 東証ホール

セミナー 司会者: ポール・アンドリュース氏 (米国金融取引業規制機構(FINRA))

8:30 – 9:00	登録
9:00 – 9:15	歓迎挨拶 - Mr. Jose Carlos Doherty , AMCC Chair, CEO, ANBIMA, ブラジル
	開会挨拶・プログラムの概要 - Mr. Paul Andrews , Vice President and Managing Director, FINRA, 米国
9:15 – 9:30	基調講演 多様な規制の枠組みと自主規制機関の役割 (IOSCO 原則 9 自主規制) - 大久保 良夫 日本証券業協会 副会長
9:30 – 10:30	パネル 1: ルール・メイキング - 政府規制当局及び自主規制機関の間の役割と責任の分担 - 業界その他のステークホルダーとの対話を含むパブリックコンサルテーションのプロセス (IOSCO 原則 1-7 規制機関) 司会者: Mr. Werner Bijkerk , Head of IOSCO Research Department - 園田 周氏 金融庁 総務企画局総務課国際室 国際協力調整官 - Ms. Karen Wuertz , Senior Vice President, NFA, 米国 - Mr. Doug Harris , General Counsel and Corporate Secretary, IIROC, カナダ
10:30 – 10:45	休憩



DRAFT AGENDA
7th AMCC Training Seminar
Implementing IOSCO Principles
Tokyo, Japan

10:45 – 12:15	パネル 2: (企業及び市場に対する) エンフォースメント (法・規制の執行) - 監査 - 市場監視 - 処分 (IOSCO 原則 10-12 証券規制の執行) 司会者: Mr. Scott Tilden, Senior Manager, Market & Participant Derivatives Surveillance, ASIC, オーストラリア - Ms. Karen Wuertz, Senior Vice President, NFA, 米国 - Ms. Corinne Riguzzi, Head of Enforcement and Market Surveillance, SIX Swiss Exchange, スイス - 宮内 大輔 氏 日本取引所自主規制法人 考査部 グループリーダー
12:15 – 13:30	昼食
13:30 – 14:30	パネル 3: 仲介業者及び外務員の資格 (IOSCO 原則 29-32 市場仲介者) 司会者: Mr. Doug Harris, General Counsel and Corporate Secretary, IIROC, カナダ - Mr. Jose Carlos Doherty, AMCC Chair, CEO, ANBIMA, ブラジル - Mr. Christian Vollmuth, Managing Director, German Derivatives Association, ドイツ
14:30 – 14:45	休憩
14:45 – 16:00	パネル 4: ATC (アヘッド・オブ・ザ・カーブ) ワーキンググループ 司会者: 大久保 良夫 ATC ワーキンググループ 議長、日本証券業協会 副会長
16:00 – 17:00	グループ・ディスカッション - 司会者: Mr. Paul Andrews, Vice President and Managing Director, FINRA, 米国



DRAFT AGENDA
7th AMCC Training Seminar
Implementing IOSCO Principles
Tokyo, Japan

2014 年 4 月 10 日 (木)

3 日目: 市場環境の変化と規制機関の責任
(IOSCO メンバー及びその他規制機関のみ)
会場: 東京証券取引所 東証ホール

セミナー 司会者: ポール・アンドリュース氏 (米国金融取引業規制機構(FINRA))

8:30 – 9:00	登録
9:00 – 10:00	パネル 1: 紛争の調停 - 司会者: Mr. Paul Andrews, Vice President and Managing Director, FINRA, 米国 - 松川 忠晴 氏 証券・金融商品あっせん相談センター 理事 - Mr. Jeong, Jae-Ryong, Head of International Organization Team, Financial Supervisory Service Korea, 韓国 - Dr. Albert Chou, Vice President, Corporate Communication Department, Taiwan Stock Exchange, 台湾
10:00 – 10:15	休憩
10:15 – 11:00	基調講演 / Q&A セッション: IOSCO Research Department が実施中のプロジェクト Mr. Werner Bijkerk, Head of IOSCO Research Department
11:00 – 12:00	パネル 2: 技術の進歩と規制機関の役割 (1) : - HFT (高頻度取引) が引き起こす問題 (IOSCO 原則 33-38 流通市場) 司会: Mr. Nehal Vora, Chief Regulatory Officer, BSE, インド - 岡崎 啓 氏 東京証券取引所株式部ヴァイス・プレジデント - Ms. Susanne Bergstraesser, IOSCO C2 Chair, BaFin, ドイツ - Mr. Scott Tilden, Senior Manager, Market & Participant Derivatives Surveillance, ASIC, オーストラリア
12:00 – 13:15	昼食



DRAFT AGENDA
7th AMCC Training Seminar
Implementing IOSCO Principles
Tokyo, Japan

13:15 – 14:15	パネル 3: 技術の進歩と規制機関の役割 (2) : - 証券市場を取り巻くリスク (サイバー攻撃、システム障害等) (IOSCO 原則 33-38 流通市場) - 司会者: Ms. Susanne Bergsraesser, IOSCO C2 Chair, BaFin, ドイツ - Mr. Scott Tilden, Senior Manager, Market & Participant Derivatives Surveillance, ASIC, オーストラリア - Mr. Nehal Vora, Chief Regulatory Officer, BSE, インド
14:15 – 15:30	パネル 4: 投資家保護に影響する技術進歩と金融イノベーション - 仕組み金融商品 - クラウドファンディング - SNS (ソーシャル・ネットワーク・サービス) を利用した広告及び勧誘 (IOSCO 原則 24-28 集団投資スキーム, 29-32 市場仲介者) - 司会者: Ms. Karen Wuertz, Senior Vice President, NFA, 米国 - Mr. Paul Andrews, Vice President and Managing Director, FINRA, 米国 - Mr. Werner Bijkerk, Head of IOSCO Research Department
15:30 – 15:45	休憩
15:45 – 17:00	パネル 5: 市場の監督 (市場操作・インサイダー取引) (IOSCO 原則 36 流通市場) 司会者: Mr. Scott Tilden, Senior Manager, Market & Participant Derivatives Surveillance, ASIC, オーストラリア - Mr. Nehal Vora, Chief Regulatory Officer, BSE, インド - 田中 賢次 氏 証券取引等監視委員会 国際取引等調査室 課長補佐 - Mr. Marcelo Deschamps, Head of Analysis and Strategy, BSM, ブラジル
17:00 – 17:15	閉会式 閉会の辞